

6月定例会号

目次

わかやま 市議会 だより

- ・特集 和歌祭四百年式年大祭 次の100年へ P2
- ・正副議長の挨拶／6月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・永年在職議員表彰など P12

No.106 令和4年(2022年)8月1日発行

未来へつなぐ

特集vol.19

和歌祭四百年式年大祭 次の100年へ

5月に開催された和歌祭、ご覧になりましたか。創始400年の節目となった今年は、祭りの舞台を和歌浦から和歌山城周辺にまで広げ、盛大に実施され、多くの人でにぎわいました。今回、和歌祭四百年式年大祭実行委員会の皆さんに、和歌祭について伺いました。



記憶と記録で後世へ

徳川家康をまつり、天下泰平を願って始まった紀州東照宮の和歌祭。これまで何度か中断した時期もありましたが、そのたびに地域の人々の手により復活を遂げ、受け継がれてきました。

100年に一度の大祭に向け、実行委員会では約3年前から本格的な準備に取り掛かったそうです。「四百年祭が人々の記憶に残ることはもちろん、記録に残すことで、五百年祭につなげたい」と、これまで口伝で継承されてきた技を映像に記録するなど、祭りを後世に伝えようと意欲的に取り組まれており、100年先まで見据えた強い決意を感じました。





まち全体が熱気と興奮に

四百年祭当日は、迫力ある「神輿おろし」を一目見ようと、大勢の人が東照宮に詰め掛けました。その後、みこしは、学生たちの手で東照宮から和歌山城まで担がれ、まちなかには学生の威勢の良い掛け声と沿道からの声援が響き合いました。学生たちの笑顔を見て、今日の日は、一生の思い出となり、さらに、和歌山への愛着を深めるきっかけになるだろう

と感じました。

この日、「渡御行列」の舞台となったフォルテワジマ前から和歌山城周辺は、多くの人であふれ、近年では見たことのないようなにぎわいでした。俳優の松平健さんが徳川吉宗公にふんし、祭りに花を添える場面もあり、まち全体が一体となつて、熱気と興奮に包まれました。県内外からの見物客は5万人にのぼり、城下町和歌山の華やかな歴史を感じるとともに、市民が主役である祭りの力強さを感じる一日となりました。

未来の子供たちへ

地域社会のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む今日、全国的に祭りの後継者不足が問題となっております。和歌祭においても、この課題に対し地道に取り組んできましたが、「四百年祭を後継者育成の更なるきっかけにしたい」と話してくれました。また、「和歌山を代表する祭り にしたい」と意気込みも十分で、今後の一層の発展に期待が膨らみます。

和歌山市には、祭りをはじめとする伝統行事が数多くあります。伝統行事は、その地域の歴史と文化の集大成であり、次世代につないでいくべき財産として、未来を担う子供たちにしつかりと引き継いでいく必要があります。

私たち議員は、和歌山市の豊かな歴史と文化の詰まった伝統行事が途絶えることなく100年先、またその先の未来までつなげていくようサポートするとともに、その魅力を発信していきたいと思えます。

編集後記



紀州初代藩主徳川頼宣公が、東照大権現として父・家康公の御霊をまつる神事を元和8年に始めたことに由来する和歌祭は、令和4年で400年を迎えました。「アーヨーイヨイ」「ヨーイヤサー」の掛け声のもと、ほとぼる汗と熱気が、見物する大勢の人々を巻き込む勇壮で華やかな和歌祭四百年式年大祭でした。

にぎやかな掛け声とともに、未来につなぐ紀州の国祭りとして受け継がれていくことでしょう。

特集担当：佐伯 誠章、井上 直樹、中村 朝人

正副議長の挨拶

市民の皆様方には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

近年、新型コロナウイルス感染症により我々の日常生活や地域経済は多大な影響を受けてきましたが、市民の皆様方のご協力により、一定の落ち着きを見せています。一刻も早く日常を取り戻し、市民の皆様方が安心して暮らせるよう、様々な社会的課題を解決するとともに、SDGsやDXを推進し、未来を見据え時代に沿ったまちづくりを行うことが必要です。

和歌山市議会では、政策形成機能を強化すべく、議員全員で知恵を出し合い、熱い議論を重ねています。このたび新しく就任いたしました中塚副議長とともに、更なる努力を尽くす決意でございますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶いたします。

議長・副議長の経歴



副議長

なかつか たかし
中塚 隆

(令和4年6月9日就任)
平成19年初当選 現在4期目
建設企業委員会委員長
和歌山市監査委員
地震等災害対策特別委員会
委員長などを歴任



第88代議長

ただ まさと
戸田 正人

(令和4年3月9日就任)
平成14年初当選 現在5期目
和歌山市監査委員
議会運営委員会委員長
和歌山市議会副議長
などを歴任

6月定例会の概要

開会

6月9日

- ・会期の決定(6月9日～6月27日)
- ・副議長の選挙

- ・永年在職議員表彰
- ・議案説明(報告関係10件、承認関係1件、議案19件(補正予算案5件、条例案6件、その他8件))

一般質問等

6月13日

- ・井上直樹議員、坂口多美子議員、中庄谷孝次郎議員

6月14日

- ・丹羽直子議員、森下佐知子議員、井本有一議員

6月15日

- ・南畑幸代議員、浜田真輔議員、中村朝人議員

6月16日

- ・姫田高宏議員、奥山昭博議員
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

6月17日～22日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会にて議案について審査

6月23日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決
(P10～P11に概要掲載)

閉会

6月27日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件6件)、採決

令和4年度予算(6月補正後)

一般会計	1,484億4,246万円 (補正額43億3,703万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,391億509万5千円 (補正額983万9千円)
合計	2,875億4,755万5千円

補正予算の概要

一般会計では、プレミアム付商品券事業、わかやま城下町バル事業、宿泊促進事業、地域バス実証運行事業、小・中学校給食費支援金事業、子育て世帯生活支援特別給付金事業、防災マップ作成業務などに要する経費が計上されました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う傷病手当金支給事業に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



いのうえ なおき
井上 直樹

IR誘致

問 県が進めてきた本市へのIR誘致は、県議会でも否決され、今回の業者によるIR誘致は白紙に戻った。これを受け、知事は、和歌山の衰退を止めるための成長因子を失った状態であるが、別の手段で県の力を必死に

高める責任があると考えているとのメッセージを発信している。決してIR誘致が今回で終わったのではなく、国が今後もIRの誘致先を公募する限り、県及び本市は、IR誘致に取り組んでいかなければならない。本市の人口減少や衰退を回避するためには、県に対して再度、IR誘致の取組を市長から知事に要望するなど、チャンスがある限りIR誘致に取り組むべきであると考えてる。

答 今回、事業者の資金面が最大の問題であり、今後、県及び本市に魅力を感じてもらえる事業者を探すべきだと考えるが、市長は知事のメッセージをどう受け止めているか。また、今後、本市としてのIR誘致について市長の考えはどうか。

答 IRは、雇用創出や経済成長、人口減少抑制などの効果が大いに期待できるまたとないチャンスであると考え、これまで県と連携し、誘致を進めてきたところであり、次なるチャンスがあれば逃さないようにしたいと考えている。一方で、今

回と同じように踏まないように世界情勢等も踏まえ、十分なコンセンサスを取って進めていく必要があると考えている。

今後とも本市の発展につながるよう、IR誘致に加え、様々なチャンスに積極的にチャレンジしていく。



子宮頸がん予防 HPVワクチン



にわ なおこ
丹羽 直子

問 9価ワクチンは子宮頸がんの原因となるほとんど約90%の予防効果があるとされている。しかし、日本

では定期接種の対象でなく任意接種の全額自己負担となり、約10万円かかる。静岡県富士市では定期接種対象外の高額な9価ワクチンの補助制度を設け、定期接種ワクチンと同額を補助する取組を4月から実施している。9価ワクチンを富士市のように一部補助という形で取り入れてはどうか。



答 9価HPVワクチンは、有効性の高いワクチンであり、現在、国で定期接種化について継続検討している。現時点は任意接種であり、副反応があった場合の健康被害の救済制度に差異があるため、一部補助の実施に当たっては、希望される方や保護者の方への丁寧な説明が必要と考える。富士市の取

組を参考に安心して接種できる相談体制を早期に整え、一部補助の実施をできるような準備を進めていく。

若年層へのがん教育

問 がん教育に際し、専門性を持った医師の出前講座を本市小中学校で実施してはどうか。

答 がん教育については、小中学校では体育や道徳、中学校では保健体育の授業において指導している。また、外部講師の方を招き、話を伺うことで、健康と命の大切さを学んでいる学校もある。今後も、外部講師の方々や医師による科学的根拠に基づいた知識を生かした授業を行うなど、より一層がん教育を推進していく。

水道事業



はまだ しんすけ
浜田 真輔

問 六十谷水管橋復旧工事が進み、県道六十谷橋も通行可能となり一区切りした。水道事業の役目は、市民

が安心して生活を送れるよう、安定して水道を供給し、その上で、健全な財政をもつて水道経営を続けることと考える。多くの老朽施設の更新はもとより、設備の維持管理には財源が伴う。安定給水を図りつつ未来を見据え財政、設備投資など水道事業について、市長の考えはどうか。



復旧した六十谷水管橋と県道六十谷橋

答 施設の老朽化対策や強じん化に加え、リダンダンシー向上の観点から災害に強く、安定的に供給できる水道を目指すことが喫緊の課題である。特に、紀の川北部への新浄水場の建設や、送水管の複線化を早期に進めなければならぬ。事業費に特定財源を活用し企業債の抑制を図り、多くの意見を反

映させ、料金制度の適正化など、次世代につなぐ水道事業を目指していく。

教職員の業務量軽減

問 子供の教育には、教職員が、子供たちと向き合う十分な時間が必要であるが、英語、ICT関連科目、特別支援学級などの業務量増加が、子供たちが学ぶ環境に大きく影響している。教職員の業務量削減が最良な教育環境に近づくと考ええるが、市長の考えはどうか。

答 教職員が本来の業務に専念でき、子供と向き合う時間を確保できることが重要である。教職員の業務の精選や効率化を更に進め、スクール・サポート・スタッフの増員と業務拡大を県教育委員会に働き掛けた。今後、部活動指導員などの拡充を国・県に要望していく。

公明党議員団



おくやま あきひろ
奥山 昭博

行政のデジタル化

問 スマートシティ関連で「里山コネクト」という仕組みがある。これは、地域が一体となり観光客へのおもてなしを実現することが目的で、ICT技術の活用により、地域が直接観光客とつながり、地域全体で顧客データを有効活用することで「地域全体の観光客」として、より有効的なマーケティングとおもてなしができる仕組みである。観光客側は宿泊施設や飲食店など旅の計画が立てやすく、地域側は集客や販売チャネルの拡大、業務効率と生産性の向上といったメリットがある。

そこで、「仮称「和歌山コネクト」」について提案する。今後インバウンドにより急増すると思われる外国人も含めた観光客に提供するもので、スマートフォンから、和歌山コネクトを開き、これぐらいの価格で海の見える部屋に泊まりたい、午前は海へ、昼食は和歌山ラーメン、夕食は新鮮な魚が食べたいなど入力すると、例えば、Aの「小舟潮」が画面

に現れ、最適なプランへと導いてくれる。ちなみに小舟潮は、和歌山市出身の田中靖規さんの作品で友ヶ島を舞台としたアニメ「サマータイムレンダ」に登場するヒロインで、本市初のアニメ観光大使に任命されている。

和歌山コネクトでは、通訳やガイドが必要な場合でも対応できる。また、スマートフォン一つでホテル予約から食事や電車、タクシー、バスの手配等もスムーズにでき、その上スマホ決済で観光施設を利用でき、バスやタクシーにも乗れるので非常に便利である。

DXを推進し、スマートシティ実現のため、仮称「和歌山コネクト」の開発を進めるべきだと考えるがどうか。

答 仮称「和歌山コネクト」のようなスマートフォン一つで、様々なサービスの利用が可能になる仕組みの構築は、市民生活の利便性の向上に寄与することから必要であると考ええる。

現在、国が進めているデジタル田園都市国家構想の中でも、個人が持つ多様なニーズ・価値観を充足し、新たな生活サービス群を生み出すデータ連携基盤の整備等が推奨されている。

データ連携基盤は、Masや観光、医療、教育など、その活用は無限大であることから、和歌山市スマートシティ推進プラットフォームの会員の皆様と連携を図りながら、早期に実現できるよう検討していく。

マイナンバー活用

問 国においては今年度より行政サービスでマイナンバーを利用拡大するための検討を始める。市の業務にマイナンバーを利用したい場合、番号法で規定することに準ずるものについて、国に申請して認められれば利用できる仕組みになっている。



国の検討開始と同時に本市でも検討を開始するべきであり、市民サービスの向上と業務効率化及び経費削減のために積極的にマイナンバーを活用していくべきだと考えるがどうか。



マイナンバーPRキャラクターの「マイナちゃん」

答 マイナンバーを活用し、様々な情報を連携することで申請時の添付書類を省略できるなど、市民サービスの向上につながる。

現在、本市の独自利用事務として、こども医療費の支給に関する事務など15の事務でマイナンバーを利用しており、今後、国の法定事務の拡大検討に関する動きも注視しながら、独自利用範囲の拡大について、検討していく。

問 マイナンバーと公金受取

口座のひも付けはメリットばかりであり、他の多くの振り込み業務にも活用できるため、本市としても積極的に推進すべきである。口座をひも付けても、振り込むだけで口座の中身を見る必要はなく、心配であれば、公金受取口座二つだけひも付けるよう新たに専用の口座を開設してもいい。



マイナンバーと公金受取口座のひも付けを積極的に推進すべきだと考えるがどうか。

答 マイナポータルへの公金受取口座の登録は、窓口での書類確認の手間を省き、給付金の迅速な受取ができるようになるなど、行政運営の効率化にとって非常に有益なものであると考える。

ひも付けを積極的に推進していく上で、市民の方に「申請時に口座情報の記入や通帳等の提示が不要になる」などのメリットを理解していただくことが重要であるため、本市としては、より多くの方々に登録の上、活用していただけるよう利便性と安全性をアピールしていく。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

出産・子育て支援

問 近年出産費用が出産育児一時金の額を大きく上回り、10万円以上の自己負担となっている。妊婦健診も毎回数千円の自己負担が生じている中、健診を受けていない妊婦が救急搬送されるケースも報告されている。国の支援を待たず、市として負担軽減の政策は急務だと思うが市長はどう思うか。

答 妊産婦の健康管理の充

実と負担軽減策については、必要性を認識しており検討していく。

中学校給食



もりした さちこ
森下 佐知子

問 中学校での全員給食実施に当たり、1か所に集中したセンター方式の採用と決定したが、もつと時間をかけ、可能な学校は自校方式にするなど、子供たちに最高の給食を追求するべきでないか。

答 自校方式を求める声もあったが、高度な衛生管理やアレルギー対応、センターに見学スペースや体験コーナーを併設し給食を学ぶ機会を作るなど、自校方式の利点を取り入れ対応する。



いもと ゆういち
井本 有一

市営住宅の風呂釜設置

問 空室募集に当選した方

が、風呂釜の輸入部品が入らず、設置できずに入居を取りやめてしまった。風呂釜なしで募集している現状を改め、風呂釜を設置してから募集をしてはどうか。

答 設置方法を選択できる制度を検討する。

紀和駅前公園の禁止看板

問 禁止項目だけを並べるのではなく、何が利用可能かも書くべきではないか。

答 公園利用のルールを周知できるように取り組む。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

交通網の充実を

問 地域バスの実証運行後、採算の問題等で地域運営協議会設立が困難な場合の取組方針はどうか。

答 運賃の値下げや地域との協力体制についても検討し、交通不便地域の解消につなげたい。交通網の充実に全庁的に取り組んでいく。

コロナ禍での事業者支援



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

問 国にインボイス中止の意見をあげてはどうか。
答 全国市長会で小規模事業者への影響等への対策について提言を検討している。



なかむら あさと
中村 朝人

保育行政

問 4月1日時点の待機児童は29名で、対策が進んでいない。課題に保育士不足などがあるが、職責に見合わない処遇が原因である。特に、配置基準に基づく人員配置では、十分な保育の実施が困難なため、人件費を抑え配置を増やしている。処遇改善が必要ではないか。
答 会計年度任用職員の処遇は、人事院勧告を踏まえ検討する。私立保育所等は、正規雇用の規定がないが、国の処遇改善等加算は処遇向上に一定の寄与がある。

教育文化センターの新たな移転計画

問 旧市民図書館への移転計画が旧市民図書館への大学の誘致で立ち消えになっただけだが、市長の考えはどのようなものか。
答 教育文化センターは、老朽化し耐震改修ができていないため、早期に方向性を出す必要があると考えている。今後は、教育委員会と市長部局の連携を強化して、公有財産活用等検討委員会の専門部会等において協議を進めていく。

和歌山興志クラブ・日本維新の会



なかしや こうじろう
中庄谷 孝次郎

いじめ問題への対応

問 いじめ問題は社会問題として、これまで数多くの議論がなされてきた。現在、いじめの形態が進化してきているように感じるが、

そんな中、子供たちの力になるために、しっかりと対策していく責任が行政には求められる。いじめ問題は、被害者はもちろん加害者も不幸にする何一つ得るものがない社会問題であり、根本から解決するのは至難の業だといっても過言ではない。しかし、困難であるからといって解決を諦めることは許されない。いじめに関係する全ての人を救うためにもいじめ対策は絶対に必要である。

現在、いじめ問題への対応として、いじめ被害者に対しては、状況に応じたスクールカウンセラー等の協力を得た支援が、加害者に対しては教育的配慮に基づく繰り返し指導が行われているとのことであるが、これだけでは問題を起こした加害者に対しての支援が少し足りないと考えられる。いじめ被害者のケアといじめ加害者の背景を明確にし、必要な対策を講じていくべきである。

ここで既存のいじめ被害者のケアに加えて、いじめが起こった根本的理由をい

じめ加害者の家庭環境や加害者自身の精神状態なども分析調査し、場合によっては専門家の指導の下、問題解決に努めるべきと考えられるかどうか。



答 加害児童生徒への指導については、いじめの直接的な行為の確認だけでなく、気持ちや感情、背景にある要因などについて共感的に聞き取るようにしている。

いじめが起こる理由としては、遊びの延長やストレスの発散などが挙げられる。また、中心となる子供との関係を維持したい、同調しなければ次のターゲットにされるなどの強迫観念からいじめに加担してしまうケースもある。

子供の心理や周辺環境

などが複雑に絡み合っているため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの意見も取り入れ、家庭環境や心理状態を含め、適切なアセスメントを行うっていく。ケースによっては、スクールカウンセラーや警察官経験者等の指導も必要であると考えられる。

声の市議会だより (市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課 ☎435-1120 までご連絡ください。



委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案6件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、SDGs推進事業170万円について。これは、SDGsの普及啓発活動として、オンライン講演会や、五感で楽しむ体験として親子「海」教室、地産地消の昼食体験等を開催するものです。



五感で楽しむ体験会のイメージ

マイナポイント普及啓発事業569万1千3百円について。これは、マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込み及び公金受取口座の登録に伴うマイナポイントの付与に係る申込み支援を行うものです。

市議会議員補欠選挙事業2億69万5千円について。これは、市議会議員補欠選挙を市長選挙と同日に行うため、その執行に伴う費用を計上するものです。

議案第3号、和歌山市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

これは、公職選挙法施行令の改正により衆議院(小選挙区)議員及び参議院議員の選挙における経費の公費負担の限度額を算定するための単価が物価の変動等の要因により引き上げられたことから、本市の議会の議員及び長の選挙における経費についても同様とするため、所要の改正を行うものです。

議案第11号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、和歌山市防災マップ作成業務358万6千円について。これは、和歌山市防災マップを見た人が、自然災害発生時の地域のハザード情報(地震、津波、洪水、土砂災害、内水)を理解できる総合的なマップの作成・配布を行うものです。

なお、審査過程において、地域活性化起業人活用事業の進捗状況、和歌山市デジタル化推進計画、令和4年度避難所運営員の任命について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、生活困窮者自立支援金給付事業2億1283万7千円について。これは、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、生活保護に準じる水準の困窮世帯に対する支援策として、支援金を支給するものです。

子育て世帯生活支援特別給付金事業5億3893万2千円について。これは、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対する生活支援として、児童扶養手当受給者等に対して給付金を支給するものです。

感染症患者入院医療事業1億3483万8千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大により新規陽性者が増加傾向にあるため、入院医療費の自己負担分に対する公費負担を増額するものです。

議案第14号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、

地球温暖化対策基金積立事業3億10万円について。これは、企業版ふるさと納税による寄附金を活用し、本市の地球温暖化対策事業に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するものです。



議案第15号、和歌山市地球温暖化対策基金条例の制定について。これは、地域再生法の規定による認定を受けた和歌山市まち・ひと・しごと創生推進計画に記載しているまち・ひと・しごと創生寄附活用事業のうち、地球温暖化対策事業に要する経費の財源に充てるため、基金を設置する条例を制定するものです。

なお、審査過程において、令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込及び令和4年度国民健康保険料率等、新型コロナウイルス感染症とワクチン接種、令和3年度和歌山市保健所運営協議会、生活保護法第78条の適用状況、海水浴場、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



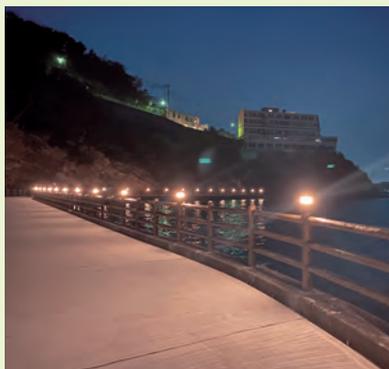
委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、観光基盤整備事業3490万7千円について。これは、和歌浦観光遊歩道の整備を行うものです。



和歌浦観光遊歩道

議案第11号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、事業再構築支援事業2億4599万9千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者が、新分野への展開、業態転換、事業再編等に取り組んだ場合に要した経費を補助するものです。

プレミアム付商品券事業12億3

088万円について。これは、新型

コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者を支援するため、市内での消費喚起を図り、地域経済の活性化を目的として、プレミアム付商品券を販売するものです。

わかやま城下町バル事業1443万6千円について。これは、市内飲食事業者の新型コロナウイルス感染症による影響を緩和するとともに、地域経済の活性化を図ることを目的として、わかやま城下町バルの開催を支援するものです。

和歌山市宿泊促進事業5000万円について。これは、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に向け、宿泊料金等の割引を支援するものです。

学校給食費支援金事業7145万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化による物価高騰により、小学校及び中学校の給食費の値上げが必要となる状況において、保護者負担軽減のために給食費を支援するものです。

なお、審査過程において、四季の郷公園内宿泊施設(グランピング)整備事業、中学校全員給食に向けたの最適な学校給食実施方式の決定などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、市道中橋線美化事業1億8777万円について。これは、市道中橋線の第2工区美化工事業及び緑化施設等整備工事を行うものです。

景観計画促進事業250万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、地域の祭り及びイベント用ちようちんの備品購入に要する費用を助成するものです。



令和3年度のちようちん設置状況

3D都市モデル整備及びユースケース開発支援事業770万円について。これは、二次元の地図に建物・地形などの情報を掛け合わせ作成する三次元の地図をデジタル上に再現する3D都市モデル整

備及びユースケース(活用事例)の開発を行うものです。

議案第2号、令和4年度和歌山市駐車場管理事業特別会計補正予算(第1号)、道路駐車場管理事業570万円について。これは、けやき大通り地下駐車場の監視盤の修繕を行うものです。

議案第6号、和歌山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について。これは、長期優良住宅の普及の促進に関する法律が改正され、良質な既存住宅を長期優良住宅として認定する制度が創設されたこと及び共同住宅について管理組合が一括して認定を受ける仕組みに変更されたことから、関連する手数料の規定について所要の改正を行うものです。

議案第11号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、地域バス実証運行事業3528万5千円について。これは、コロナ禍で落ち込んだ既存公共交通の活性化を図るため、公共交通不便地域において商業施設や病院等を経由し、既存公共交通に接続する地域バスの実証運行を行うものです。

なお、審査過程において、六十谷水管橋破損関連費用、六十谷水管橋緊急復旧工事業スケジュールについて、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

永年在職 議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。

在職25年



えんどう ふじお
遠藤 富士雄 議員

在職15年



とだ まさと
戸田 正人 議員



いのうえ なおき
井上 直樹 議員



やまもと ただすけ
山本 忠相 議員

謹んでお悔やみ申し上げます

本市議会議員、^{まつい のりひろ}松井 紀博氏(55歳)は、5月16日にご逝去されました。
故・松井紀博議員は、平成15年以来、和歌山市議会議員に5期当選されました。その間、議長、副議長、経済文教委員会委員長、公営企業決算特別委員会委員長、決算特別委員会委員長などを歴任され、本市の発展に寄与されました。



市議会だより設置にご協力いただける事業者を募集しています!

わかやま市議会だよりを設置していただける市内の事業者を随時募集しています。市議会だよりは、定例会ごとに年4回発行しており、「見やすい、読みやすい、親しみのある紙面づくり」に取り組んでいます。一人でも多くの方にご覧いただき、市議会をより身近に感じていただくため、事業所や店舗での設置にご協力をお願いします。

設置に当たっては、申込書の提出が必要となります。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

設置申込書・募集要綱をご覧ください。▶



次の定例会は、
9月です!

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び感染リスク軽減のため、本会議及び委員会の傍聴は、できる限り同時配信しているインターネット中継をご覧ください。ご協力をお願いします。



生中継・録画中継が
ご覧いただけます。

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

- 【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 中庄谷 孝次郎 山中 敏生
 川端 康史 坂口 多美子 園内 浩樹
 井上 直樹 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022(議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

